

健康人が

KENKOU
JIN
GYA
KUKU

ゆく

楓や照明機器販売の光
商事の経営に加え、居酒屋
「楓御堂」も営業する
エネルギッシュな黄社
長。楓御堂は「原価居酒屋」
が売り。

「入場料を一人当たり
600円（2時間制）お
支払いたければ、生
ビールの中ジョッキなら
200円ちょっと、ハイ
ボールやカクテル一杯な
ら100円ほどと原価で
飲めます。日本酒やワイ
ン、焼酎、酎ハイなども
揃えており、お酒の好き

黄 勤 楓

楓 社長

原価居酒屋や賃貸経営も

な人には満足していただ
けるメニューです。コロ
ナ禍でも好評で、今年、
日暮里に新店舗を出店
し、柴又との計2店舗を
開店しています」

不動産にも関心を持
つ。

「20年ほど前からマン

ションの一室や家を購入
し、賃貸経営を続けてい
ます。老後は年金だけに
頼っている生活が苦し
くなりそうなので、家賃
収入で生計を立てるつも
りです」

忙しい中でも休みを取
り、趣味の一つ「映画鑑

賞」を楽しむ。

「たまに映画館に足を
運びますが、専ら自宅で
DVDをまとめて鑑賞し
たり、移動が必要な時に
はスマートフォンで鑑賞
したりしています。ジャ

ンルは問わず何でも観ま
すが、なかでも深作欣二

監督の作品が好きで、印
象に強く残っているのは
『仁義なき戦い』のシリー
ズです。最近是中国映画
も質が上がってきている
ので、中国映画を観るこ
ともあります」

読書も趣味の一つ。

でカラオケに行きません
が、以前はカラオケにも
よく行きました。学生時
代の頃によく聴いたJ・
POPが好きで、一番の
お気に入りには福山雅治の
『桜坂』です」

「以前は、松下幸之助

さんや本田宗一郎さん、
稲盛和夫さんなど、著名
な社長の自伝や経営に関
する本をよく読んでいま
した。会社スタッフの管
理が苦手なので、人心掌
握術などを、読書を通じ
て勉強しています」

音楽も楽しみの一つに
挙げる。

「最近はコロナの影響
で、売り手、買い手、
社会が良くなるらないと商
売は成り立ちませんから
ね」

〈こう・きんぶ〉

中国・福建省出身。1974年11月1日生まれ、
48歳。大東文化大学国際関係学部を卒業
後、医薬品・健康食品メーカーに就職。プロ
モーション部で肝油ドロップの販売促進
に従事。輸出部に勤務した後、11年に独
立し照明機器を卸販売する光商事を設立。
18年には健康食品や酒類を輸出販売する
楓を立ち上げた。

